

星屑

No. 300
Mar. 2000

おかげさまで300！特集号



熊本県民天文台

今回 300 号を迎えた「星屑」は、1968 年に発足した熊本天文研究会の最初の月報からはじまりました。実に 32 年も前のことになります。今回、宮本名誉台長から、熊本天文研究会発足から熊本県民天文台に至る経緯を思い出しながら書いていただきました。
(編集部)

熊本天文研究会（県民天文台の前身）について

宮本 幸男

もう 33 年も昔のこと（1967・S.42）ですが、妻に“天文ガイド”を買ってくるよう頼んだことがありました。妻は新市街の栄通りにある金興堂書店で、書棚に並ぶ“天文ガイド”を手に取ろうとしました。その時、「貴女が星を見るんですか？」と、驚きの趣で声をかけてきた青年がいました。青年の名は古庄和生氏。彼は熊高を卒業し、大学受験の都合で浪人中、壺渓塾の帰りに本屋に立ち寄ったとのこと。

「来春大学に入れたらお伺いします」と約束して別れたそうです。

彼が僕の家に現れたのは、春も半ばを過ぎた 5 月頃でした。彼は熊本工業大学に入り、母校熊高・天文部の面倒をみているとのことでした。そして天文の話題や世間話の後、彼は「熊本にも星好きの人が結構いるようですから、市内で天文同好会を作りたいと思いますが、どうすればいいでしょう？」と、大真面目です。僕は「熊本博物館に行ってごらんなさい、あそこには西岡先生や永井先生がおられるから、きっと相談にのって下さると思いますよ。」と答えました。（博物館では無料一般公開で、月に一回“星を見る会”を実施していました。担当職員は永井先生で、西岡先生は時に応じてギリシャ神話など話しておられたと記憶しています。）

その翌日、彼は早速博物館を訪ねました。西岡先生は、1946 年（S21）五高の池田一幸先生を中心にして集まった熊本天文研究会の話をされ、自然休会となっているこの研究会を復活したらいいだろ。どうかね。と熱心に説得されたそうです。そして会長さんには熊大理学部教授の小貫 章先生。（ご専門は天体力学で、AIN シュタイン効果を実証するために中国で皆既日食を観測された。）顧問の先生として県立美術館長の小山岑雄先生（前副知事・県民天文台の名付け親）など 10 名近くの方を手際よく推薦され、博物館職員の村上貞昭氏に会則の草稿を作るよう命じられたとのことでした。

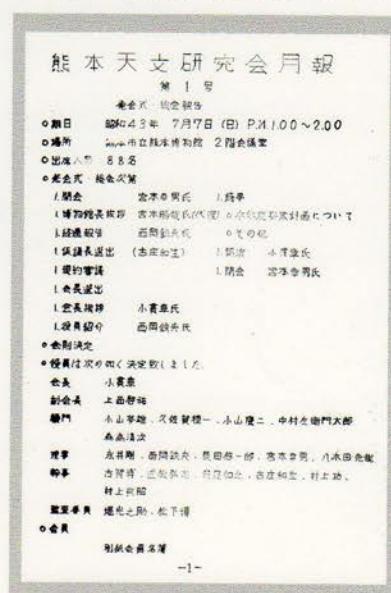
次の日、古庄氏が私の家にやって来て「博物館に行きましたら西岡先生が、天文同好会を作る段取りを考えて下さいました。以前あった“熊本天文研究会”を復活する形なので、名称もそのままです。」とのことでした。古庄氏が当初作りたいと考えていた、アマチュアの天文同好会とは、大分ニューアンスが異なる、アカデミックな天文研究会となりそうでしたが、兎に角熊本に住む天文愛好家を集めて同好会を作るという目的は達成出来そうでした。

古庄氏と僕はその後何回も博物館を訪ね、研究会再発足のための委員会や会員募集などの準備に追われました。

博物館といつても、現在の立派な博物館ではありません。当時の（1960年代）熊本博物館は、現在の市立産業文化会館（産文会館）の所にありました。此処にはもともと木造二階建ての、市立勧業館があり、この建物には、戦時中肥後銀行が入っていましたが、戦後暫くして熊本博物館が使用するようになりました。

1968.07.07. (S43) 博物館の部屋をお借りし、熊本天文研究会（略称・熊天研）が63名で発足しました。七夕の日にスタート、というのは天文愛好家に相応しいということです。

研究会の事業の一つとして、星屑と称する冊子を毎月発行することになりました。原稿もみんなで手分けして書いていましたが、会長の小貫先生も球面三角法（天文計算に必要）を、中学生の知識でも分かるように丁寧に解説して10回以上連載されたことがあります。現在のようなワープロやコピー機械など何にもない時代です。印刷はもっぱらガリ版刷り、これは古庄氏が引き受けてくれましたが、そのせいもあってか彼は毎日博物館通り、学校に行かなくても博物館には居る、という熱心さでした。そ



熊本天文研究会時代の最初の月報。まだ名称はなく「熊本天文研究会月報」となっている。

の後、永井先生が星屑発行を長年担当されたことがありました。

星屑発行の他に、毎月一回博物館で研究会を催し、天文に関する話題や行事等を検討し、天体観測会や研修旅行など企画していました。後には、研究会への参加者が増え、会場を市民会館に移したこともありました。僕の記憶も大分あやしくて、はっきり思い出せないので、何時の頃からか僕の家で研究会をやっていました。後では市立高校で国語の教師をなさっておられた津留先生のお宅と隔月に研究会をやっていました。

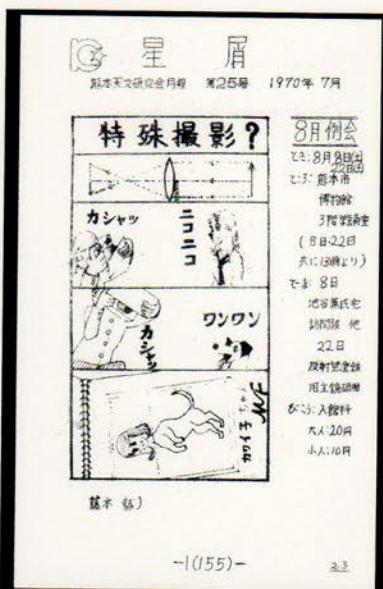
観測会も阿蘇や吉無田など、その時の状況に応じて場所を選んで催していましたが、あちこちと大人数の観測場所を探すのは大変です。どこかに、望遠鏡を設置した観測所を作りたいという願望が台頭し始めました。

丁度その頃、博物館が古京町の現在地に新築されることになって、デザインや内容の検討会が始まられるようでした。そしてここに望遠鏡を持つ天文台が併設されるとの噂が流れ、熊天研も俄に活気づきました。

反射でもいいから口径30cm程度は欲しい、等と勝手なことを言っていましたが、会長の小貫先生は「いろんな点からみて検討した結果、口径20cmの屈折が良かろうということになった。」と話されました。

熊天研でも、新博物館に出来るであろう、天文台に大いに期待していましたが、建設場所の三の丸は、国の重要文化財指定地域です。博物館の建物の上に天文台のドームが出るなどはもってのほか、ということで天文台建設はあっけなくボシャってしまいました。

やはり「他人任せ」ではだめだ、というのがよくわかり、小さくても好い、多少不便でも良いから、自分たちの手で熊天研の観測所を創りたい。という地味ながら、まともな考えが頭の中にしっかりと根付きました。



25号で「星屑」と改名

先ず場所探しですが、これも古庄氏が御船町に住んでおられたので、率先してその任にあたられ、吉無田高原に続いて矢部町の間谷山（マンタンヤマ。812m）を調査され、小林寿郎氏や僕他数名で再調査に行ったこともあります。マンタンというのは、谷が沢山集まっている、という意味からきた名前らしいのですが、独立峰で見晴らしはとても良かったと思います。ただこの山のてっぺんに観測所を作るとなると、取り付け道路や、電気や電話を引くこと

ができるか、その電柱はどうするのか、給水・排水をどうするか。等問題となることも多く残りそうでした。

マンタンとは別に、阿蘇根子岳の東にぽっこりと盛り上がる荻岳（843m）を数名集まって調査に行ったこともあります。その時はテレビ中継アンテナの建設中でしたので、通行止めに遭って山の頂上までは登れませんでした。久住の瀬の本に行つたときなど、ひどい風に見舞われて、一晩中ガタガタ震えていたこともあります。



熊本天文研究会時代の最後の星屑。
100号と熊本県民天文台開所の記念号で50頁の大作。
表紙はプリントゴッコによるカラー印刷。

そうこうしている時、熊本から車で30分弱の城南町に艶島さんがご自分の住宅を建てられ、そこから“天の川”が良く見える。という話を聞きました。そこで小林さんたちと一緒に艶島さんのお宅を訪ね、夜空の星を美しく眺めることができました。そうして南側に見えるあの丘の上に、熊天研の天文台を作れたら良いな、是非何とかして作りたい、という願望が沸々として湧き始めました。

熊本県民天文台が出来る前のお話です。昔話をするようになると、年をとった証拠だ。と言われますがこれは本当でして、僕も78才になりました。記憶もだいぶ怪しくて、間違ってる部分があるかも知れませんがどうかご容赦下さい。

【おわり】

本文の中でも紹介した「月報」「星屑」は熊本県民天文台に保管されています。天文台に来られたときご覧になってはいかがでしょうか。（編集部）

300号記念

会員の皆様からの 一言集

今回は300号記念ということで、会員の方からのハガキや電子メールで紙面を構成しました。

これから10ページにわたり会員28人+熊大天研部員の“一言”をお楽しみください。(編集部)

300号記念…私からの一言

名誉台長 八幡紀雄城南町長

日々忙しくなり毎日帰る時には
雲々、雨天がなければ空にはいぱい
星のあこ、あ、それいたとて心い奈
運り帰宅の家路につく
毎日さす。昔、星空と見えて、ううと
空想した時分が懐かしく思えます。
夢失なやないためにも、今後も
下さる
へ
悔れぬ

300号記念…私からの一言
会員番号 300 氏名 中尾富作

ハレー彗星が接近中、県民天文台の記念講演が産業文化会館で行われ、その講演を見に行つたのが天文台との最初の出会いでした。まだ学生で免許を持たなかつたので、自転車で通いました。今じゃとても出来ませんが。

車で通うようになって、運営をさせて頂くようになりました。今のように、便利な自動導入装置など無く、パソコンも富士通のFM-7が大事に座していたのを憶えております。便利なものが無かつたのと、よき先輩方に恵まれ、星の導入の仕方、説明の仕方など、沢山のことを学ばせて頂きました。数々の思い出は、阿蘇中岳の噴火の中、ストロンボリ噴火でしたか、線香花火を逆さまにしたような、木口ホロとした赤い炎と後ろにはきらめく星たち…。そんな写真を撮られた方が会員の中におられ、よし、俺も撮るぞと行ったまではよかったです、爆発寸前でもうもうと煙りが立ち上り、小さい砂、いや小石が降ってくるという中、命辛々逃げ帰ったというのが一番でしょうか。しかも、その記事が星屑に掲載され、みんなから、ばかばい、と…。旧天文台の隣りがお墓でした。お盆の頃になると、夜に墓参りされる方がいて、マッチの炎が人魂みたいに見えて、みんなでドキッとしました。チロ望遠鏡が来て、デモでステラナビゲータを見て感激し、パソコンって凄いと思いソフトをその場で買ったこと。メキシコまで、皆既日食を観測したこと。初めての海外が超ハードスケジュールで大変だった。いくつも飛行機乗り継いでバスに揺られて、到着寸前でガス欠になり、みんなでガソリンスタンドを取り囲み、叩き起こして燃料補給したこと。最近では、ヘルボップ彗星や百武彗星の尾がとても凄かった。しし座流星群を追っかけて、宮崎までの強行遠征観測に出かけたこと。あ～沢山あって、ページが足りない。最後に、今まで私と出会った方へ、お元気ですか。私は相変わらずです。あと、号数が同じの星屑へ、お互い年取ったね。

星屑300号 おめでとうございます。

300号記念…私からの一言

会員番号 9 氏名 西岡 録次

Such ihm überm Sternenzelt!
über Sternen muss er wohnen.
— Beethoven Nag symphonie,
シラーの歌詩集より
星の天蓋の上に神とおどかせ!
星の原点にてモルツナリナラ。

300号記念…私からの一言

会員番号 8 氏名 永井 剛

星屑300号 おめでとうございます。
編集その他でたずさわった皆さん
のご苦労に感謝します。

1968年7月7日発足の熊本天文研究会
から、熊本県民天文台に名を改めて今日に
至った31年半、一時中断はあったものの、
星屑はよく続いたと思います。

あちこちに出かけての会員の観測から、
天文台に大望遠鏡を備えての多くの人
たちに星を見る感動と楽しみを伝えた
功績は大です。今後の発展に期待
しましょう。

300号記念…私からの一言

会員番号 11 氏名 宮本 幸男

「星屑」の300号記念誌ができるそうで、
誠にお目出度うございます。心よりお喜
び申し上げます。熊本天文研究会に引き
続き熊本県民天文台の、運営から星屑の
出版に至るまで、長い期間に亘り、支え
て下さったスタッフや会員諸子の熱意と
ご努力に対し、満腔の敬意を表し、併せて
深く感謝申し上げる次第です。

星屑300号と言えば、1年に12冊と
して、何と25年です。いや天文研究会
と称していた頃は、「星屑」が或る期間
年に数冊しか出せなかつたこともあります
ので、眞実は32年にもなります。

まさに感無量といったところです。

新年会の席で斎島台長から、「天文研
究会発足当時の話を書いてみませんか」
と誘われました。その当時からいる人も
少なくなりましたので、ボケない内に、
うすれた記憶を呼び戻し、昔々のお話を
書くつもりで、構想を練っているところ
です。

300号記念…私からの一言

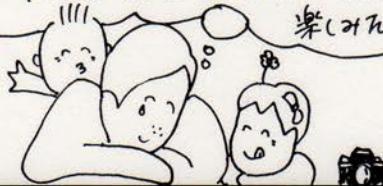
会員番号 1003 氏名 立川 則之

星屑300号記念発行おめでとう
ございます。S57.5.16.熊本県民
天文台(前身、熊本天文研究会)発足
に際し、資金集めの奔走に加わり、
監査委員として11余り、微力
ながらお手伝いをさせていただきました。
長い道程の星屑300号発行の
よう、びと共に、熊本県民天文台の
すばらしい年輪を想い出し。
感動星です。今でも星屑を
ご送付戴き、皆様の星空への
憧憬が、手に取るオブジェに伝わって
きます。
今後のご発展をお祈りします。

300号記念…私からの一言

会員番号125 氏名立川正之

200号からもう300号か？
100号発行の内どうぞ多くて300号。
新しい天文台と、天文台のメンバーはどうなるのかなあ……でもほんと星の楽しさを伝え、天文普及も一心に努力。みんなおつかれ様。
我輩はといふと……
第2回目の日食遠征でいよいよ行けた。
2児のおやじとなり、育毛剣にこみき
お世話をこりやぢめる。とほほ。
秋、百武・ヘルニア両彗星、しし座流星には
本当に感激したが。
まあ、400号までにどんなことがあるやら
樂(みだ)。



300号記念…私からの一言

会員番号199 氏名工藤哲生

星屑300号に寄せて
前身の天文研究会の後期の、県
民天文台建設という変動の時期に
入会し早20年の歳月が過ぎ、星
屑もいつのまにか300号になる
とのこと、編集委員の皆様の御努
力の賜物と敬服しております。
西合志

私事ですが、5年前に町立図
書館建設の計画が上がり、その上
に天文台のドームが乗っかればカ
ッコイイなと思っておりました
本当に図書館天文台が完成してしま
いました。県民天文台のよう見
ボランティアによる運営を夢見て
一般募集をし、現在運営員16名
3班で毎週土曜日に一般観察会を行
っております。空の条件は良い
とは言えませんが、惑星や明るめ
の星雲、球状星団など結構よく見
えます。星を見て感激する人、見
野の中の星雲をなかなか見つけら
れない人など、それぞれの反応が
で喜ばれています。40cm望遠鏡
とフジノン15cm双眼鏡が皆様を
お待ちしていますので是非見学に
おいで下さい。

300号記念…私からの一言

会員番号226 氏名山本重信

300号達成おやつとうござ
ます。
事務局、編集者のみなさんは
御苦勞のみけつけをして、今年け
新年会にも行けなくてすいません。
今年も星屑の読者で終了させ
られませんからよろしく。

300号記念…私からの一言

会員番号248 氏名長谷勇治

入会したとき、星屑はすでに100号、
1982年7月7日号でした。

20代だった私もいつの間にか、「境
目のない遠近両用めがね」を必要と
する40代後半になってしまった。
その間、ただぼんやりと気が向いた
とき星を見るだけで何の進歩もない
自分が悲しい。

それにしても、長い間星屑を作り続
けてこられた歴代の編集委員のみなさ
ん本当に疲れさまでした。

今後も楽しい星屑を期待しております。
生きているとすれば、500号で
退職数年後、1000号で100歳を
軽く超えているか。うーむ。

300号記念…私からの一言

会員番号 N_o489 氏名有馬 昭夫

・宇宙論に興味があり、入会してみて
ですか、仕事から忙で全く天文台に
足を運ぶことができませんでした。

来年は月1回程度は行けた
らなあと思へます。

300号記念…私からの一言

会員番号 382 氏名上塚達郎

「ここに天文台ができるんだ。」と
藤山の丘に立った僕は、まだ高
校生だ、たろうか。藤山天文台に行
き初めては自転車はHONDA
XL50S、原付のオフロード
バイクでちう坂を登っていた。
就職して研修で天文台を訪
れたとき、会員になり、今に
至っている。

300号記念…私からの一言

会員番号 482 氏名 中尾達也



★星屑300号

おめでとうござります！

400号の時も運営委員かな??

などと期待させつつ、これから
もよろしくお願ひします。

きっと後輩が後を継いでくれるハズ…

300号記念…私からの一言

会員番号 475 氏名 徳尾尚史

これまで新天体
に関する情報や
観測記録、旅行記
等、面白く読んでおりま
す。2000年以降の星屑を
集めにしております。

私は五十数年前、まだ式時計、日暦時計、懐中時計、腕時計三個と一年位から二年位まで、懐中時計をうるさい時放して測りました。懐中時計が一番整度が良ったのですが、気温に則する誤差があるのです。懐中時計を毎日湖水温十度深さ七米のサケ水の上に釣して毎日二回七時二十九時に引上げてうるさい時放して測り記入しました。時計の精度は一直線に良くなりましたが、懐中時計と毎日昼夜体温を測り、一日の誤差が十一秒位まで良くなりました。自此の方法を取ることで、市からの人工衛星の観測には此の特許を使いました。

会員番号345 氏名 西川 登

300号記念…私からの一言

会員番号 氏名 山口祥貴

”う～さむつ”

独身のときは、毎晩のごとく天文台に現れていたし、”カップラーメン持参して。”

STAFFの来台日数TOP10いや、TOP5ぐらいに入ってたかと思うと、結婚して、全然行けなくなってしまった。

高校生のときは、自転車で旧天文台まで40分こいで来て最後の坂でしばらく動けなかったこともあったな～”

もう入会して10年ぐらい経っただろうか？

現在は、何故か山形にいるし寒すぎる。

”ここからじゃ、熊本の★空見えないヨ～”

300号記念…私からの一言

会員番号 293 氏名 松崎達二

星屑300号おめでとうございます。

運営委員・編集委員の方々、毎回大変だと思います。

熊本を遠く離れた人間には、毎月送られてくる「星屑」が唯一の情報源なので、いつも楽しみに拝見させていただいてます。これからも頑張ってください。

ー近況報告①ー

仕事柄、秩父(埼玉)・丹沢(神奈川)・御嶽山(長野)などの山奥の現場に行く機会があるので、そのときは愛車にちっちゃい望遠鏡(PENTAX 75SDHF)を乗っけて行っています。

なかなか、じっくりと写真を撮る時間はないんですけど。

ー近況報告②ー

昨年、仕事でヒューストンとデンバーに行ってきました。

ついでに、NASAのジョンソン宇宙センターを見学しました。

アポロ計画時のロケット見学やスペースシャトル用の訓練施設見学が出来て非常に興味深かったです。(本物の管制室見学もありました)。

300号記念…私たちの一言

会員番号 211 氏名 土山由紀子

皆様こんにちは。京都在住会員の土山と申します。この度は、『星屑』300号おめでとうございます。

機関誌を発行し続け 300 という数字を見るのは大変なことだと思います。それを途切れることなくやっているのですから、熊本県民天文台の元気が伝わってきますね。

100号、200号とメッセージを書いてきたことを思い出します。

100号にメッセージを書いたのは、まだ“熊本天文研究会”だった頃。毎月1回博物館で行われる例会に出席しては、天文台が建つ日を想う高校生でした。天文台が建った春に熊本を離れ、18年。けれどあの頃天文台が建つのを待ち焦がれた気持ちは、今も、いつか天文台がある熊本へ帰る日を待つ気持ちとして私の中に生き続けています。

300号記念…私たちの一言

会員番号 434 氏名 松野真二

300号を迎える私もここでの活動が長くなつたと実感しています。

最近は子供もでき、星から少し離れつつありますが奥さんを説得しこれからも星のイベントに参加できるよう軌道修正する予定です。

300号記念…私たちの一言

会員番号 492 氏名 川端 孝幸(プラネットタウン)

はじめまして、今回入会しました川端です。300号おめでとうございます。

この原稿を書いている昨日、大分天文協会の20周年の記念行事がぎやかに行われました。

天体観測会、キャンプ、撮影会などなど、地道なボランティアの活動が、塵も積もれば山となるで大変大きなものになるのだあとづくづく感じた次第です。

熊本県民天文台もまたその草分けです。夢がなくなってしまったかに見える現代日本ですが、地域のボランティアの人々の活動にかすかな光を感じています。子供達も大人達もこの宇宙に目を向けてもらうことで小さな希望をみつけだしてくれるのでは無いでしょうか。特に大人達。自分のこどもに夢を与えるためには、やはり自分自身に夢が無くては、子供達も夢を身近に感じることはできません。

ささやかだけどおおきな希望につながる活動。300号もそんなすばらしい活動の成果であり、通過点です。今後益々の発展を希望します。ささやかですが、私もお手伝いしていくつもりです。宜しくお願い致します。

(私の目先の夢：2002年までにオーストラリアに天文台を作る。ちょっと難しい

夢：小惑星 TAKAYUKI に着陸)

300号記念…私たちの一言
会員番号 205 氏名 艶島敬昭

祝 星屑300号！

寿郎さん

小惑星9993番への

「KUMAMOTO」

命名提案、やったね！！

歴代運営委員の皆さん

ありがとう！！

台長 艶島 敬昭

300号記念…私たちの一言
会員番号 488 氏名 大川美恵子

夜空の美しい星を見ながら、ふと、意識を広大無辺の宇宙へ飛翔。この地球もあなたもわたしも、つまるところ「星のかけら」かなどと思いに耽ける。そういうひとときが妙に気にいっています。

「星屑」300号記念刊行おめでとうございます！

なぜか宇宙の不思議に魅され、夜空の星と「星屑」を、ほぼ感性の世界だけで楽しんでおります。

これまで幾度となく美しい星を見せて頂きまして艶島台長さんをはじめ運営委員会のみなさまに、ここからお礼申し上げます。ボランティア運営と伺い、いまどき稀れな称賛すべき天文台ですね。21世紀にむけ、時代の先端の波に乗り、ますますご活躍されますように！！！

300号記念…私たちの一言
会員番号 437 氏名 佐伯 和久

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
300号おめでとうございます。＼
(^O^)／

今後も400号、500号めざして
頑張って下さい。

私は鹿児島からひっそりと・・・た
まに写真送ります。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

300号記念…私たちの一言
会員番号 198 氏名 中島 尚

私が星屑の編集に関わってから、もう100号以上がすぎたことになる。あっという間のこの時間。その間に時代は大きく変わった。インターネットが当たり前。10万円パソコン。写真はCCD。望遠鏡は自動制御。サクラの400で感動し、2415で水素増感なんてのはずつと昔の話。天文に対する情熱も冷めたり熱したり。

でも、変わりなく光り続ける星星。その星を眺めていると、昔の熱かった時代が思い出される。これからも、つかず離れず星とつきあっていきたい。

ともかく、300号おめでとうございます。毎月一回発行をこれからも続けていきます。

300号記念…私からの一言

会員番号 216 氏名 安達智子

星屑 300号

おめでとうございます。

600号のときも

きれいな天文台で

いらっしゃます様に

整理整頓を

心がけましょう。

300号記念…私からの一言

会員番号 456 氏名 佐高奈美枝

300号 本当に おめでとうございます!!

県民天文台の存在を知ったのは今から約
14年前。オーストラリアにて彗星の観測
に行行った時のこと。現 薩島台長の短い姿が
若々しかったことと、星に対する情熱を思い出します。
今は、何10倍も熱く青年から、
いやるひでよう!! 熊本県民天文台の増築の
ご発展と、ご無事を心より祈念申し上げます。
2000年、新千年纪、本当の意味で宇宙時代
をおさたいものですね!! 宇宙に跨れた地球人に
なりたいのです!! 地域規模での文明構築が
始まっているようです!! 幸福らしい2世纪にめざす!

300号記念…私からの一言

会員番号 333 氏名 桑岡 秀光

星屑発行300回おめでとうございます。
おかげでか 天文台へ出向かせて
もらですが、この「星屑」を毎月
樂しませんります。

私も皆さんに負けまいと次第に
前に、星の話題を中心に
ホームページを立てさせて
よかつて一度見て下さい。
<http://www2t.biglobe.ne.jp/~nonbe/>

これからも皆様のご活躍を期待して
います。

300号記念…私からの一言

会員番号 432 氏名 西嶋 好美

こんにちは☆ 金曜日当番の西嶋です。

冬は寒いです!! (当然だ) 星のきれいな夜ほど寒い!
私の大好きなオリオンの季節! のはずなんだけど…
カゼひいて、すいぶんサボってしまいました…



公開が終り、コーヒーと一緒に入れる時のあたかさが
いいですねー。でも帰ろうとするとDioが凍つたりして…
さぶ~早く帰って(パロルで)あったよ~
朝と東西に弱い西嶋なのでした。

星屑の情報は、サークル活動でも大変参考にしたい
さうに、300号以降は星屑の情報収集料として2万円
(税込)。

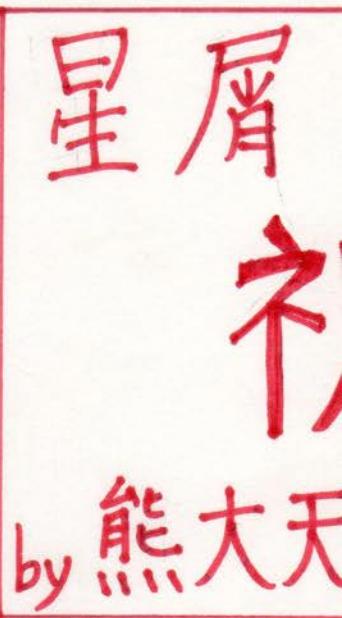
㊗️ 星屑300号!! 私達がまだ入学していない頃から毎月発行されてついに! 300号目なんですね。すごい!! これからも熊大天文研究会のことによろしくお願いします。私達もできる限り運営の手伝いをしたいと思います(?) ←後輩に頼るから会長 佐藤

300号達成おめでとうございます。ミレニアムにちなんで、2000号目にして下さい。また、望遠鏡をのぞかせて下さい。佐土原

300号!! おめでとうございます。300号と119と300ヶ月も発行したんですね。 $300 \div 12 = 25$ で 25年ですか…。
うへん、すごい!! 25年間も発行しつづけているとは。
会計: 萩木

星屑300号、おめでとうございます。これからも幅広い層の人々に夢を与え続ける天文台を目指してがんばって下さい。 河田

300号発行おめでとうございます。私が生まれる前から発行されていましたんですね。これからも熊大天文部をよろしくお願いします。 村春。



星屑300号 おめでとうございます

己文研究会

星屑300号、おめでとうございます。20年以上
続いてますね。すごいですね。これは400号ですね。

鹿児

おめでとうございます。
まだお世話を貰ってますね。
今後ともよろしくお願ひします。平井

星屑300号おめでとうございます。
これからも熊大天研の「食料源」として
よろしくお願ひします。あと星屑の原稿
ですが、これからは後輩の面々にも依頼
していくたたがると大変ありがたいですね。

中尾

おもんは大学2年生のとき
から天文台の運営をやっていた。
天文のおかげで大学生活楽しかった
けど青春をつかできなかつた気です。

4月からは長崎県職員となりましたので
3年くらいは払わない会費を払は
うと思う

岩永正幸

僕はトークアウトで年に3回も自己紹介しました。
覚えてないと思いますが、これからも世話を貰います。
色々よろしくお願ひします。

御園生

Y2Kの「嵐」のあとで・・・

2000年の新年会、大いに盛り上がる！



コンピューターやシステム機器の誤動作で、世界的にライフラインの混乱などが心配された、いわゆるY2K問題。社会の中堅どころを担う我が会員の中には、職場での泊まり込みの対応や、緊急時に備えた自宅待機の状態で年末年始を迎えた方が多かったようです。幸い、大した問題は起こらず、新年会に駆けつける事ができてホッとしている仲間もいましたね。



皆既日食や流星群などについて大きな話題のない2000年の幕開けですが、さすがはKCAO、食べ物がつくる頃には大きな話題で盛り上がりを見せました。その仕掛け人は、副会長の小林寿郎さんです。

氏発見の小惑星に「KUMAMOTO」と命名しようという提案です。早速、英文の命名文を考える起草委員会が結成されました。



300号の表紙イラストの構想を練る立川氏

新年早々、予定時刻を1時間も超過して、ようやく新年会はお開きとなりました。山本屋さん、お世話になりました!

暖冬とはいっても夜は冷え込みます。お客様も寒さのせいか少なかったようです。

1月の県民天文台 ~運営日誌より~

開台率 8日/31日=25.8% 一般来台者数名 12名 会員来台 20名

日付	天気	来客数	担当運営	記事
7日(金)	晴	0名	長谷 小林J	さすがに正月は誰も来ません。(長谷)
8日(土)	はれ	2名	艶島、 中島、 小林M、 立川、 高田、 中尾(の)	M42、木星、土星 トークアバウト
10日(月)	晴	0名	艶島	今日は成人の日「1月の第2日曜日の次の月曜日」が成人の日になった第1回目、なのかな? ひょっとしたら来台者があるかも、と思って来てみたがどうやら新成人諸君は星をみるとことより「酒を飲んでさわぐこと」にいそがしいらしい。 帰るとするか!
16日(日)	くもり	0名	艶島、 かい	星屑No.299発送。次号で300号うーんよく続いたものだ。(かい)
21日(金)	晴れ	0名	長谷、 山田	とにかく寒い
28日(金)	はれ	10人	小林J、 西嶋、 山田	木星、土星、M42、ベテルギウス、シリウス、 リゲル、土星には「すげー」の歓声ひとしきりでした。(西嶋)
29日(土)	くもり/はれ	0名	中島、 松野、 高田	室温5°C。300号記念号についての打ち合わせ。 (中島)
30日(日)	曇のち晴	0名	艶島	今日は夕方まで曇っていたせいか、夜はれてきたのに来台者“ゼロ”。天文月報を読み終わったので、これで帰ります。

マーリングリストご参加のお誘い

現在、県民天文台の有志(?)でマーリングリストを通じて情報の交換をやっています。内容は運営の連絡や星屑の編集や、天文台でのちょっとした出来事など、月に10通ほどです。

最近、個人でメールアドレスをお持ちのかたも多くなってきました。この機会に参加されではいかがでしょうか?

お申し込みは、中島尚 (kcaohige@infobears.ne.jp)宛てまで。無料です。

久しぶりに「星屑」300号を編集しました。今回、編集にあたって県民天文台の書架に保存してある天文研究会時代からの「月報」や「星屑」をひっぱりだしてみました。30年以上も続いている会誌なので読んでいるとその時代、時代ごとにいろいろ変遷があります。

やはり面白いのは、熊本県民天文台開所(1982.5)前後の頃で、苦労して出来上がった自分たちの天文台を前に、各自自分の“夢”を語っている「星屑」からはその頃の会員の様子がよく伝わってきます。

今回の300号は、普段なかなか記事を書く機会がない、会員の方からのハガキや電子メールをもとに構成しました。送ってくださった会員の方、どうもありがとうございました。編集を終えて、この号がウン十年後に、天文台の雰囲気を伝えるものになっているかな?と思ったりしています。

☆ 3月の天文現象＆行事

1日(水) 水星が内合

6日(月)新月(14:17)

11日(土)トークアバウト・星屑発送(20:00~)

13日(月)上弦(15:59)

20日(月)春分の日、満月(13:44)

28日(火)下弦(9:21)

29日(水)水星が西方最大離角(+0.3等 離角27°50')

熊本県民天文台機関紙「星屑」2000年3月号 通巻300号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 担当 高田祐一

ホームページ http://www.kmt-technopolis.or.jp/KUMA/KCAO_TST.HTML